

【2013年度】番組審議委員会議事録

2013年度放送番組審議会議事録（抄録）

■日 時

2013年6月29日(土) 10:00～13:30

■場 所

JCN 関東 本社 3階 会議室

■出席者

○放送番組審議委員会（敬称略）

木下陽介、草野律子、小松政毅、田川啓二、中村丈夫、三輪祐子、宮崎晃一、本橋一好、横田等

○株式会社 JCN 関東

代表取締役社長 日野廣生、常務取締役 新井博、取締役 坂出宜隆、CS 推進室長 魚住和幸、
県央支社長 高田純一、川越支社長 中原勉、南支社長 石渡一樹、春日部支社長 石倉康浩、
越谷支社長 鈴木尚彦

○ジャパンケーブルネット株式会社（JCN グループ本部）

メディア事業本部コミュニティコンテンツ運用部埼玉エリア制作室長 日沖英明

○事務局

メディアコンテンツ部 8名

○欠席 放送番組審議委員（敬称略）

南雲晴美、藤川一幸

■議事項目

1. 報告事項

- (1) 加入状況などの近況報告について
- (2) スマート TV ボックスについて（実演あり）
- (3) CM コンテスト募集について
- (4) コミュニティチャンネルの今期の編成及び自主制作番組について

2. 審議事項

JCN 関東の自主制作番組及びサービスなどに関する意見・感想等（抜粋）

【コミュニティチャンネル】

お店、学校、行事等もっと地域の PR 促進を希望する一方、視聴者は地域情報だけでは需要・興味が無いという事も受け入れ、新しい企画等も考えていくべき。

また、エリア内外にとらわれずタイムリーに必要な情報、多くの地域と係わりがもてる楽しい番組を期待している。

○25 分間全編を見るに耐えず、チャンネルを変えてしまうのが実態。新しい企画などで見続けられる番組作りを希望。

○地元だけの話題の番組では難しいと思うので、「地域＋トレンド」なども考えてはどうか。

○デイリーニュース県東版は曜日毎に地域が分かれ見易くなった。

○長時間取材したイベントでも、放送は短い、内容・ポイントを凝縮して主催者の思いを表現してくれており、取材を受けた方からも好感度を持たれている。

○取材される側の立場では、どの番組で放送されるのか判り難い。

⇒ 取材時に放送日告知のチラシ配布を継続。

【広報・プロモーション活動】

JCN 関東の認知(広報活動)については引き続き検討し、行っていくべき。

また、Twitter や facebook など SNS も活用し、地域ポータルという位置づけになれば面白い。

○取材された内容については公式 Twitter で放送日を周知している。

○「ケーブルじゃないと番組が見られない」、ではなく途中段階として一部ネットで放送するのもいいのではないか。

○映像、音楽など地域ポータルとして活かせるものがあれば面白い。

○番組プロモーションとして、番組によっては毎週 CM を作成、またデータ放送も活用し内容を掲載している。

○PR については JCN グループ全体で同じ悩みをかかえている。

○引き続き審議委員の皆さまにも広報活動についても協力願いたい。

【CM コンテスト】

誰でも参加可能であり、とても面白い企画だと思う。現段階では漠然としており市民には分かり難いので、周知だけでなくワークショップ開催や、Net(動画)投稿者をターゲットにするなど広く検討してほしい。

○誰でも参加というのはとてもいいが、周知不足である。

⇒ 周知はこれから実施。紙媒体では後援会への声掛け（依頼）や、営業員によるチラシ配布のほか Web、コミチャンにて実施する。

○CM を作るためのワークショップなどを行ってみてはどうか。

- 動画を UP している人は大勢いるので、動画募集であれば、NET 使用者にターゲットを置いてもいいのではないかと。
- 高校の放送部ではコンクールへ応募している学校もあるので、募集をかけてみてはどうか。
- 以前 CM を応募した事があるが、何をどう表現するか、映像制作の前段階のプロセスが非常に有意義で意味があった。また若い人の発想には驚かされ、違う世代だからこそ面白いと思った。

【プラス誌・ガイド誌】

地域情報が掲載されている冊子で、多くの人に読んでもらいたいと思うので、加入者限定ではなく地域のフリーペーパーの様にしてほしい。

- 地域情報メインの冊子であり、加入者だけではもったいない。フリーペーパー化して置いてほしい。
- Web が進んでも紙媒体はなくなると考える。
- ケーブルテレビを見たい、番組表を見たいと思うには興味深い！と思われることが大事だと思う。
- 今年 4 月からページ割や写真の使用などリニューアルを行った。

【スマート TV ボックス】

スマート TV ボックスは非常に完成度が高い。活用方法に更なる期待がもてる。

- スマート TV ボックスの完成度は高く、需要があると思う。
- スペースも今までの STB の半分で邪魔にならず、主婦・一人暮らしにも快適だと思う。
- アーカイブで地域情報が見られるのもいい、これらの特徴をもっと活用すべき。
⇒アーカイブ（「jee もっと」）は一週間のみ。また、設定すれば他局の番組も視聴可能である。

【にっぽんケーブルチャンネル（10ch）】

全国のケーブルテレビから「地元大好き」が伝わってくる。

- 日本全国の各地の魅力的な「地元大好き」感が伝わってくる内容である。
- 7 月から「旅チャンネル」とコラボレーションした番組も開始される。
- このチャンネルも 11ch 同様、見られる為に PR がもっと必要である。

【審議まとめ】

- 1 つでも多くの情報を、1 分でも長くコミュニティチャンネルを見て、思ったことを率先して伝えていくのが番組審議委員の任務であると考えます。
- 良い番組を作っていくために、いろいろな意見を反映、改善していくべく、同じベクトルに向かって頑張りましょう。

【まとめ】

本日いただいた貴重なご意見、重要なポイントを吸収し、番組・プラス誌・web、そして PR 活動へと対応していくので、引き続き見守っていただきたい。

以上